

週刊 女川湾海況速報 (No.55)

発行：東北大学女川フィールドセンター

東北大学マリンサイエンス復興支援室

8 月 5 日から 9 日の小乗南防波堤定点と St.1 の海洋観測情報

観測点



小乗南防波堤定点の結果

①水温・塩分：先週と比較して全層で水温と塩分は上昇。経時的に表層（0m）の水温は 6 日に一旦下降したあと、徐々に上昇し、9 日には 22.1℃を示した。表層の塩分は 7 日以前に比較的 low、30 以下を示した。この低い塩分は主に降水の影響と推定。また、先週と比較して全体的には塩分が高いことから、先週まで見られた湾外からの低塩分水の侵入は弱まったと推定。

水深 [m]	8月5日 (月)	8月6日 (火)	8月7日 (水)	8月8日 (木)	8月9日 (金)
0	21.5 (29.0)	20.6 (29.9)	21.2 (29.6)	21.6 (30.2)	22.1 (30.0)
5	17.8 (32.0)	17.5 (32.4)	19.0 (31.1)	17.5 (32.6)	17.8 (32.5)

水温の単位は℃。*9日は水深6mのデータを使用。

②濁度：先週と比較して全層で下降。経時的には 9 日に全層で顕著に上昇し、底層（5m）では 2.9FTU を示した。（単位は FTU）

水深 [m]	8月5日 (月)	8月6日 (火)	8月7日 (水)	8月8日 (木)	8月9日 (金)
0	0.6	0.8	0.7	0.8	1.3
5	1.5	1.6	1.1	1.0	2.9

③溶存酸素：先週と比較して全層で下降したが、5~8mg/l 台を示した。経時的には表層で 6 日と 7 日に 7mg/l 台、底層では 6 日と 8 日に 5mg/l 台の低い値を示した。

水深 [m]	8月5日 (月)	8月6日 (火)	8月7日 (水)	8月8日 (木)	8月9日 (金)
0	8.0	7.2	7.6	8.0	8.0
5	6.2	5.9	7.4	5.9	7.3

単位は mg/l。水産用水基準（水産動植物が正常に生息および繁殖ができる値）：4.3mg/l 以上。

St.1 の結果

水温、塩分はそれぞれ 16.6~20.4℃、29.9~33.1 の範囲にあった。濁度は 0.8~2.9FTU の範囲にあり、底層（19m）で最大。溶存酸素は 5.5~7.8mg/l の範囲にあり、底層で最小。先週に引き続き表層には塩分 30 以下の低塩分水が存在したが、先週と比較して低塩分水内の塩分は上昇。

8月7日

水深 [m]	水温 [℃]	塩分	濁度 [FTU]	溶存酸素 [mg/l]
0	20.4	29.9	1.1	7.8
5	18.8	31.4	0.8	7.5
10	17.5	32.5	1.0	6.2
15	17.1	32.8	1.6	6.1
19	16.6	33.1	2.9	5.5

本データの利用については、
東北大学マリンサイエンス復興支援室

Tel.: 022-717-8827

Fax: 022-717-8828

E-mail:

agr-marin@bureau.tohoku.ac.jp

までお問い合わせください。